

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (沖縄)	良く なっている	百貨店（営業企画）	販売量の動き	・前年と旧盆の時期が違い、本年は18日後ズレとなっているため中元ギフト期間のプラス分や、インバウンド売上、改装効果維持により前年同月比+30%強となっている。全国的に厳しい衣料品では+10%強の伸びとなっており、食品では中元ギフト実績を除いても+35%の伸び等、好調な推移となっている。
	やや良く なっている	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・改装した店舗が好調である。部門では、旧盆需要でギフトや総菜、水産が好調であった。
		スーパー（販売企画担当）	販売量の動き	・旧盆が前年より後半にあったことや、プレミアム付商品券が一部地域にて使用開始となっていることなどから販売量と単価がアップしていると考えられる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年同期と比較して、来客数が上昇している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年と比べ、1日当たり100名増えている。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・大幅な伸びではないが、予約数、売上高など前年度を上回っている。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・客単価も上がり、なおかつ利用人数も増えている。
		住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・観光関連の宿泊施設の建築計画など、これまであまりなかった案件の相談などが見られる。また、近隣市町村から、公共工事の指名通知が複数あり受注機会が増えている。
	変わらない	住宅販売会社（営業担当）	単価の動き	・住宅展示場への来場者アンケート結果では、建築予算枠が上向きとなっている。
		一般小売店〔菓子〕	販売量の動き	・観光シーズンに入っていることや、海外からの来沖客が多くなっているが、あまり販売量は増加していない。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・前半と後半の大型台風により、営業活動は大きな影響を受けたが、客単価は前年をやや上回る状況である。商品供給も安定すれば、売上は回復する。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今年の8月は、前半は客の入りは良かったが、後半はイマイチである。原因は色々あるが、主に夏休みの終わりの台風の影響と、旧盆が重なったこと等が挙げられる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率において、3か月前とほぼ同様に、前年同月実績に対するマイナス幅が変わらない。今月は台風の影響も受け、直前のキャンセルもあった。
		通信会社（サービス担当）	単価の動き	・前月と変わった様子はない。
やや悪く なっている	その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・予約件数が、前年に比べて10%近くダウンしている。沖縄県全体としては外国人観光客は増えており全体的には良いと思われるが、レンタカーを利用する国内観光客は若干減少しているものと予想される。	
悪く なっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・商店街は零細企業の集まりである。最近は大店が増え値引き競争では対抗できず、また全体的な整備でも大店には太刀打ちできない状態であり、商店街は危機的状況に陥っているという話が数多く聞かれる。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・台風の日には以前はレンタルビデオ店、映画館、居酒屋は客が多く入っていたが、今年は台風の日の店内はがらで全くだめであった。レンタルビデオ店には客は入っていたようなので、平日を含め、外出する機会が確実に減っているようである。	
企業動向関連 (沖縄)	良く なっている	食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・今月は旧盆も8月26日～28日と、本土の盆から継続する形であったため、売上が好調に推移した。
	やや良く なっている	会計事務所（所長）	受注価格や販売価格の動き	・リゾートホテルでは稼働率も高水準であるが、客室単価も微増している。
	変わらない	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・スーパーマーケットやコンビニ、外食などの食品系貨物の取扱量は若干増えているが、アパレルや建築資材、家電などの貨物は増減なく安定している状態である。
		やや悪く なっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注額が減少している。	

	悪く なっている	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・派遣の新規依頼や既存ユーザーからの追加依頼が増えている。職種も幅広く、地域的にも従来より広範囲で、中心部でない市町村の企業や施設からの依頼がある。
		学校[大学] (就職担当)	採用者数の動き	・新卒採用に関する求人件数、求人社数が増えている。企業側が雇用に積極的な傾向であることが伺える。
	変わらない	人材派遣会社 (総務担当)	求職者数の動き	・今月も派遣登録者数が減少している。
	やや悪く なっている	求人情報誌製作 会社(編集室)	求人数の動き	・8月の週平均件数は894件で、5月(1035件)と比較すると、マイナス141件だった。
		学校[専門学 校](就職担 当)	周辺企業の様子	・急に仕事の受注が入った等の理由での求人が増えている。急に増えた事業の先が不安である。
悪く なっている	-	-	-	